

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	AIAI PLUS 麴町		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		2024年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		2024年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月21日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・定期的に、面談や子育てに関する助言等支援が行われているとの意見が多いこと。	・保護者とのタイムリーな情報共有に努め、気軽にいつでも相談できる体制を整えています。	・保護者の日頃の育児のご苦労を共感的に理解しようとする意識を持つよう、今後も職員教育に努めていきます。
2	・生活空間が心地よく過ごせる環境になっている、子ども達の活動に合わせた空間になっているとの意見が多いこと。	・毎日の清掃と整理整頓をはじめとする、心地よい空間づくりに努めています。	・「場を清める」「礼を正す」「時を守る」といった基本的な姿勢を意識できる職員教育。
3	・科学的根拠に基づいたプログラムが提供できること。	・定まったプログラムの基本形は崩すことなく、個々に応じた介入をし、効果に差が生じないように意識して取り組んでいます。	・児童自身が、昨日までできなかったことができるようになる喜びを感じられるような働きかけを職員間で共有しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の配置数は適切だが入れ替わりが激しいとの意見があったこと。	・人事異動や職員の退職。	・支援計画にのった途切れなく継続的な支援がどの職員でも可能な状態に常にしていくこと。
2	・保護者同士の交流の機会やきょうだい向けのイベントなどのきょうだい支援。	・夏まつりイベントの開催はあったが、広くきょうだい支援を打ち出したものではありませんでした。	・ニーズがある以上、できないことがないか検討していきます。
3	・個別支援計画について、面談のもとニーズに沿った形になったのは最近との意見がありました。	・児童発達支援管理責任者の不在期間や入れ替わり時期にそのような状況ができてしまった可能性があります。	・職員体制の安定化を図り、個別支援計画書の更新の面談等を確実に行っていきます。